

事業者における自己評価結果

公表：2023年3月

事業所名：こども通所サービスさくら

職員数 5名 / 回答数 5名 / 回答率 100%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|---|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | | ・子供の人数や活動内容に応じて部屋を使い分けている |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | | 1 | ・バリアフリーではないが生活空間は遊ぶ場所、交錯する場所などに分けられている ・段差はあるがバリアフリーの必要な子がないので、引き続き注意を払って見守っていく |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 5 | | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 3 | 1 | ・外部評価の機会がない ・機会があれば外部評価を受けられるように意識している |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | | ・研修やミーティングを行い、情報交換や意識確認を行っている |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | ・モニタリングを行い作成している |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | | | ・校外学習や製作などを用い工夫している |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | | | ・校外学習や製作などを用い工夫している |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | ・個人活動（製作などを）と集団活動（校外学習などを）を組み合わせ作成するようにしている |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | | | ・その日のディリーを書くことで役割や活動内容を記し、理解できるようにしている |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | | | ・帰りの送迎から戻った後に必ず行い共有している |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | | ・日々の記録や連絡帳を共有し今後の参考にしている |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|---|--|
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 5 | | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | 1 | | ・各児童に担当職員がいるので、その子に応じて交代で参加している |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 5 | | | ・毎月学校からのメールや送迎時の会話、その都度電話などで情報の共有をしている |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 4 | 1 | | ・現在必要な児童がいない ・現在医療的ケアが必要な子供が利用していない ・必要な児童がいない |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 5 | | | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 3 | | ・今までいなかったが、必要に応じて対応、共有していく |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 3 | | ・各支援センターと連携しているが、今後も助言や研修を多く受けて行きたいと考えている ・コロナが落ち着いて機会があれば受けようしていきたい |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 2 | 3 | ・コロナ禍で現在は難しいが、今後機会があればしていきたいと思う ・障害のない子供との活動は今は多くない |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 3 | 1 | ・コロナ禍での為実施されていない ・協議会への積極的な参加は不十分だと考えている |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | ・連絡帳や送迎時に情報交換を行っている |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 4 | 1 | | |
| 保護者への説明責任等 | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | ・契約時に行っている |
| | ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | | |
| | ㉜ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 4 | | ・コロナ禍の為実施されていない ・コロナ禍で開催を控えていた ・コロナ禍で出来ていなかったため、落ち着いて出来る機会があれば行っていくようにしていきたい |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|--|
| | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | | |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | | | ・毎月のお便りや連絡帳、インスタなどで随時行っている |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | | |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 2 | 3 | ・コロナ禍で行えていないが、今後機会があればしていきたい ・地域に開かれた運営を目指しているが不十分と思われる |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | | | |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | | | |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | | ・定期的に行っている |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | 1 | | ・必要な子がいないので行っていない |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | 1 | | ・現在アレルギーの子はいないが、今後必要な時は対応していくようにする |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | | ・いつでも確認、共有できるようにしている |

事業者における自己評価結果

公表：2023年3月

事業所名：こども通所サービスさくら

職員数 5名 / 回答数 5名 / 回答率 100%

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|---|--|----|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・人数や活動内容に応じて部屋を使い分けている ・子供の特性により室内配分がある |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容に応じて配置人数を振り分けている |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になつている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの必要な子がいないので、引き続き注意を払って見守っていく ・絵カードを用いり、目ですぐに確認できるようにしている ・バリアフリーではないが、生活空間は遊ぶ場所、工作や宿題をする場所などに分けられている |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になつている。また、子ども達の活動に合わせた空間となつている | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機や次亜塩素水を利用し、こまめに消毒や換気を行い感染対策を行っている ・感覚統合の遊具や玩具、興味を持ちそうな物を準備している |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にミーティングを行っている |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けのアンケートを行っている |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開し、いつでも確認できるようにしている |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 1 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・第三者の評価を得る機会がない ・外部評価を受けた時は結果を業務改善につなげている |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | |
| 適切な 支援の 提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い作成している |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間でモニタリングを行い、計画を作成するようにしている |

| | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 5 | | ・計画案に沿って行っているが、その都度成長や姿に合わせて調整している |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | ・職員間で話し合っている |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | ・製作や校外学習などで固定化しないようにしている |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 5 | | ・製作や校外学習などで固定化しないようにしている |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | | ・デイリーを作成して貼っておくことで、いつでも見て確認できるようにしている ・気になることなどはその都度話している |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | | ・気になることや気づいたことなどはその都度話し、全員で共有できるようにしている |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | ・日々の記録や連絡帳を活用し共有している |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | ・担当職員が主となり話し合い（モニタリング）を行っている |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | | ・担当職員が参加している |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 1 | ・気になる子に関しては連携をしっかりと取りながら、支援をしていくようにしている |
| | ㉓ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 1 | 4 | ・必要とする子が利用していない ・協力医と契約し、その都度機会に応じて連携している ・ある程度地域の関係機関と連携した支援を行っているが、十分とはいえない状況が実際の所だと考えている |
| | ㉔ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 3 | 2 | ・必要とする子が利用していない ・協力医と契約し、その都度機会に応じて連携している ・ある程度地域の関係機関と連携した支援を行っているが、十分とはいえない状況が実際の所だと考えている |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | | ・保育園や学校送迎時などの会話で姿や様子を確認して情報交換を行い、共有できるようにしている |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | | ・保育園や学校送迎時などの会話で姿や様子を確認して情報交換を行い、共有できるようにしている |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 2 | ・コロナ禍なので落ち着いて機会があれば研修など受けたい ・各種支援センターとの関わりはあるが、十分な助言や研修は受けられていないので、今後は積極的に動きたいと思う |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 5 | ・コロナ禍なので落ち着いて機会があれば研修など受けたい ・他施設との交流は十分とは言えないと思うが、今後は機会を見つけて交流をしていきたい |

| | | | | | | |
|------------|---------|--|---|---|---|--|
| | ②9 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍なので落ち着いて機会があれば参加していきたい ・今の所積極的に参加しているとは言えないので今後の課題だと考えている | |
| | ③0 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の会話や連絡帳、インスタ、おたよりなどで姿や様子を共有している | |
| | ③1 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | 4 | 1 | |
| 保護者への説明責任等 | ③2 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている |
| | ③3 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | | 5 | | |
| | ③4 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者より相談があった時はすぐに対応、支援が出来るようにしている |
| | ③5 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 2 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で出来ていなかったもので、落ち着いて出来る機会があれば行っていくようにしていきたい |
| | ③6 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | | 4 | 1 | |
| | ③7 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたよりや連絡帳、インスタなどで随時行っている |
| | ③8 | 個人情報の取扱いに十分注意している | | 5 | | |
| | ③9 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | | 5 | | |
| | ④0 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 2 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で行えていないが、今後機会があればしていきたい ・行事に招待はしていないが、お散歩などで地域住民と交流はしている ・地域に対して閉ざしている訳ではないがもっと開かれた運営をしたい |
| | 非常時等の対応 | ④1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | | 5 | |
| ④2 | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | | 5 | | |
| ④3 | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している | | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・状況を掲示していて誰でも対応できるようにしている |

| | | | | |
|----|--|---|---|---|
| ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | 1 | ・アレルギーの子がいないのでしていないが、今後必要な時はしっかりと対応していくようにする |
| ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | ・いつでも確認、共有できるようにしている |
| ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | ・研修やミーティングを行っている |
| ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 4 | 1 | ・必要な子がいないので対応していない ・今後必要になることがあれば、しっかりと対応していくようにする |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。